(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年 5月 31日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県吉野郡大淀町桧垣本2214-18

氏 名 株式会社大和建設 代表取締役清水巌一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0747-52-9012

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項(奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5)の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社大和建設
事業場の所在地	奈良県吉野郡大淀町桧垣本2214-18
計 画 期 間	令和6年4月1日~令和7年3月31日
当該事業場において現に行	っている事業に関する事項
①事業の種業	頁総合工事業
②事業の規模	克請完成工事高 74,755万円
③ 従 業 員 数	女 27人
	木くず→再生処理業者に委託し、燃料チップとして再資源化。
	コンクリート殻→再生処理業者に委託し、再生骨材として再資源化。
④ 産業廃棄物の 一連の処理の工程	ファルト・コンクリート殻→再生処理業者に委託し、再生路盤材として再資源化。
	廃プラスチック類→優良認定処理業者に委託し、埋立処分。
	汚泥→優良認定処理業者に委託し、脱水して埋立処分。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社(廃棄物処理統括責任者)

工事現場管理責任者 (産業廃棄物管理責任者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	産業原	廃棄物の	種類	木くず		コンクリー	ト殻	
	排	出	量	1322	t	93	t	
	産業原	廃棄物の	種類	アスファルト・コンクリ	小殻	廃プラスチッ	ク類	
	排	出	量	74	t	26	t	
①現状	産業原	産業廃棄物の種類			管理型混合廃棄物		汚泥	
	 排	出	量	106	t	48	t	
	(これる	までに実施	施した取	組)				
	Z == (==)							
	【目標】	l						
			種類	木くず		コンクリー	ト殻	
	産業原	廃棄物の						
	産業原	発棄物の 出	量	1189	t	83	1	
	産業 排 産業 月	発棄物の 出 発棄物の	量種類	1189 アスファルト・コンクリ	t 小殻	83 廃プラスチッ	¹ ク類	
②計画	産業別 排 産業別	廃棄物の 出 廃棄物の 出	量) 種類 量	1189 アスファルト・コンクリ 66	t 小殻 t	83 廃プラスチッ 23	¹ ク類	
②計画	産業別 排 産業別 産業別	廃棄物の 出 廃棄物の 出 発棄物の	量 種類 量 種類	1189 アスファルト・コンクリ 66 管理型混合廃	t 小殼 t 歪棄物	83 廃プラスチッ 23 汚泥	ク類 t	
②計画	産業別 排 産業別 排 産業別	廃棄物の 出 廃棄物の 出 発棄物の	量 種類 量 種類 量	1189 アスファルト・コンクリ 66 管理型混合廃 95	t 小殼 t 歪棄物	83 廃プラスチッ 23 汚泥	ク類 t	
2計画	産業別 排 産業別 排 産業別	廃棄物の 出 廃棄物の 出 廃棄物の 出	量 種類 量 種類 量	1189 アスファルト・コンクリ 66 管理型混合廃 95	t 小殼 t 歪棄物	83 廃プラスチッ 23 汚泥	ク類 t	
2)計画	産業別 排 産業別 排 (今後)	廃棄物の 出 廃棄物の 廃棄物の 出 実施する	量 種類 量 種類 量 予定の取	1189 アスファルト・コンクリ 66 管理型混合廃 95	t 小殻 t 棄物 t	83 廃プラスチッ 23 汚泥	t	
②計画	産業別 排 産業別 排 (今後)	廃棄物の 出 廃棄物の 廃棄物の 出 実施する	量 種類 量 種類 量 予定の取	1189 アスファルト・コンクリ 66 管理型混合廃 95 組)	t 小殻 t 棄物 t	83 廃プラスチッ 23 汚泥	1	

産

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず、コンクリート殻、アスファルト・コンクリート殻、廃プラスチック類、管理型混合廃棄物、汚泥はそれぞれ分別し保管場所を明示して保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き、木くず、コンクリート殻、アスファルト・コンクリート殻、廃プラスチック類、管理型混合廃棄物、汚泥はそれぞれ分別し保管場所を明示して保管する。

自身	っ行う産業廃棄物の再	う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
		【前年度(令和5 年度	·) 実績】			
		産業廃棄物の種類	_		_	
	①現状	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	_	t	_	t
		産業廃棄物の種類	_		_	
		自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	_	t	_	t
		(これまでに実施した取	組)			
			_			
		【目標】				
		産業廃棄物の種類	_		_	
		自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	_	t	_	t
	②計画	産業廃棄物の重 ー ー				
		自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	_	t	_	t
		(今後実施する予定の取	組)			
			_			
自身	っ行う産業廃棄物の口	中間処理に関する事項				
		【前年度(令和5 年度	〕実績】			
		産業廃棄物の種類	_		_	
		自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	_	t	_	t
	①現状	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 乗 物 の 量	_	t	_	t
		(これまでに実施した取	組)			
			_			
		 【目標】				
		産業廃棄物の種類	_		_	
	②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	<u> </u>	t	<u> </u>	t
		自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	_	t	_	t
		(今後実施する予定の取	組)			

自身	っ行う産業廃棄物の埋	里立処分又は海洋投入処分に	に関する事項			
		【前年度(令和5 年度)	実績】			
		産業廃棄物の種類	_		_	
	①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	_	t	_	t
		(これまでに実施した取約	组) ————————————————————————————————————			
		【目標】				
		産業廃棄物の種類	_			
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	_	t	_	t
		(今後実施する予定の取組	组)			
产当	 	<u> </u> 				
12.7		【前年度(令和5 年度))実績】			
		産業廃棄物の種類	木くず		コンクリート	. 殼
		全処理委託量	1322	t	93	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t		t
		再生利用業者への処理 委託 量	1322	t	93	t t
		認定熱回収業者への 処理 委託 量		t		
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		t		t
		産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリー	小殼	廃プラスチッ	ク類
		全処理委託量	74	t	26	t
		優良認定処理業者への 処理委託量		t	26	t
	①現状	再生利用業者への 処理 委託 量	74	t		t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t		t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t		t
		産業廃棄物の種類	管理型混合廃	棄物	汚泥	
		全処理委託量	106	t	43	t
		優良認定処理業者への 処理 委託 量		t	43	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	106	t		t
		認定熱回収業者への 処理 委託 量		t		t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t		t
		(これまでに実施した取約 可能な限り再生利用業者の る。		うい、最	終処分量の低減	をはか

(第5面)

産業廃棄物の種類	木くず		コンクリー	<u>۲</u>
全処理委託量	1189	t	83	
優良認定処理業者への 処理 委託 量		t		
再生利用業者への 処理委託量	1189	t	83	
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		t		
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t		
産業廃棄物の種類	アスファルト・コンクリ	小殻	廃プラスチッ	13
全処理委託量	66	t	23	
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	23	
再生利用業者への 処理 委託 量	66	t		
認定熱回収業者への 処理 委託 量		t		
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t		
産業廃棄物の種類	管理型混合廃	棄物	汚泥	
全処理委託量	95	t	43	
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t	43	
再生利用業者への 処理委託量	95	t		
認定熱回収業者への 処理委託量		t		
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t		
(今後実施する予定の取	(組)			

②計画